



2021年3月15日

「新型コロナ感染症の陽性者を取り巻く状況と新たな取り組みが社会に与えた影響  
～宿泊療養と全国の学校閉鎖が働く親に与えた影響に焦点をあてて～」

経済社会研究会 研究ノート No.3

崎坂 香屋子

入野 志保

仮屋 茜

(帝京大学大学院)

(要旨)

- 今回特記すべきは新型コロナウイルス感染症の重症者の医療提供を確実にするために、日本でも2020年4月以降に軽症者のために初めてホテル等に陽性者を療養滞在させる「宿泊療養制度」が導入されたことである。しかし、その現状や課題は明らかとなっていない。軽症者の若年層のホテル・宿泊療養者が多いことに鑑み、Twitterから情報を得て新型コロナウイルス対策としての宿泊療養の実際と課題を分析した。
- 軽症者とされる療養者は、療養かつ感染拡大防止のためホテルの一室に隔離され、食事の受け取り以外は部屋から出ることは禁じられている。室内で亡くなっている事案が複数発生してからはLINEでのテレビ電話機能も用いられるようになったが、急変には対応できないこともあり、宿泊療養の大きな課題となっている。個室での隔離であるため身体的苦痛に加え、社会からの偏見、社会復帰への難しさ、経済的不安に関する心情に関する投稿が最も多く、全体の半数を超える。
- また、2020年春の休園休校措置は子供のいる家庭生活に大きな変化をもたらした。子どもを持つ共働きの両親にウェブ調査を行ったところ、調査時と比較すると休園休校中ストレス度が高くなっていた。また、休校が解除された後も休校前ほどストレスは低くならなかった。さらに世帯の経済状況はストレス度にも影響を与えていた。休園休校措置を再び行うときには自宅における親の負担や子供の精神面にも十分な配慮を行う必要がある。

## はじめに

本稿では 2020 年、世界的流行 (Pandemic) となった新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) が主として日本社会に与えた影響のうち、限られた課題の報告となるが(1)本感染症によってはじめて導入された医療避難所としての「宿泊療養」システムの現状と課題、(2)それに伴う SNS による情報交換の高まりと内容の変化、また 2020 年 4 月以降実施された(3)「全国の保育園、学校等の一斉閉鎖」とそれにより働く親がどのようなストレスを受けたか、を全国調査した結果について報告する。

## 日本における新型コロナ感染症 (Covid-19) の蔓延と「医療避難所」としての「宿泊療養」の導入

新型コロナウイルス (COVID-19) の感染者が 2020 年 1 月に日本で初めて確認されて以降、感染は爆発的に拡大し 2021 年 2 月上旬には累計約 40 万人を超える感染者が確認されている。入院患者も累計約 2.5 万人、重症者も全国で約 700 名と増加しており、死亡者数も 7000 名を超えた。新型コロナウイルス感染症は言うまでもなく日本の社会、経済に多大な影響を与えた。2021 年 2 月時点でも新規感染者数の増加はやや減速しているものの、収束の兆しは見えない (感染者数には空港検疫、チャーター便での帰国者を含む) 1。しかし、感染者数の約 80% は医学的には症状が軽いといわれる軽症者に分類される 2。新規感染者数、重症患者の治療方法、その実際については広く報道されているが、感染者の 8 割以上を占める陽性者のうちの「軽症者」の治療、療養については十分には報道されておらず、また軽症者に関する調査研究はほとんどない。

今回特記すべきものの一つが重症者の医療提供を確実にするために、日本でも 2020 年 4 月以降に軽症者のために初めてホテル等に陽性者を療養滞在させる「宿泊療養制度」が導入されたことである。医療者をホテルに 24 時間滞在させるが、対面診療は行わない。電話等を用いての健康観察だけで実際には陽性者を個別隔離し、弁当などを 1 日 3 回提供するものである。療養者に経費負担はない。諸外国では、リゾートホテルや宿泊施設を以前から災害避難所として使用しているが、今回日本で初めて一部のホテルや公共の宿泊施設が軽症者のための「医療避難所」となったのである。

筆者(崎坂・仮屋)らは、軽症者のうち、若年層がホテル・宿泊療養者が多いことに鑑み、SNS (Twitter : アカウント 30 件、投稿件数 429 件 2020 年 4 月から 10 月 31 日迄) から情報を得て、療養者の動向の分析を行った。これらを通じて新型コロナウイルス対策としての宿泊療養の実際と課題を明らかにすることとした。総分析数は内容が複数の領域にわたっているものもあったため、集計上は 4 月から 6 月を 89 件、7 月から 10 月を 340 件として計 429 件を分析した。

## 「宿泊療養」の実際

感染症法改正により 2020 年 4 月以降、急きょ日本で導入された「医療避難所」ともいえる宿泊療養施設は多数がいわゆるビジネスホテルであった。2020 年 8 月時点では全国で 62 施設 (公表されたデータのみ、ホテル名を公表していないホテルも実は存在する) であ

ったが、2021年1月でも全国で57施設が指定されていた。軽症者とされる療養者は、療養かつ感染拡大防止のためホテルの一室に隔離され、食事の受け取り以外は部屋から出ることは禁じられている。感染力がなくなるとされる陽性判明から10日を経過し、かつこの期間の最後の72時間(=3日間)に症状の増悪などがなければ退所となる。退所に関し、PCR検査などはなく、陽性でも症状に問題がなければ退所となることは多くの陽性者、罹患者の不安のもととなっている。自分が陰性に戻っているかどうかはこの時点では確認ができない。ただ体調が十分でない場合は延長滞在が可能である。逆に本人の希望も取り入れられるため、多少の微熱などがあっても本人の帰宅意思があれば退所となる。退所者の部屋の消毒が間に合わず、宿泊療養施設が効率的に運用されていない、とする指摘もある。また宿泊療養は感染症拡大予防の観点からもホテルなら一棟すべてを借り上げるため行政には莫大な予算支出となっていることは特筆すべき事項である。

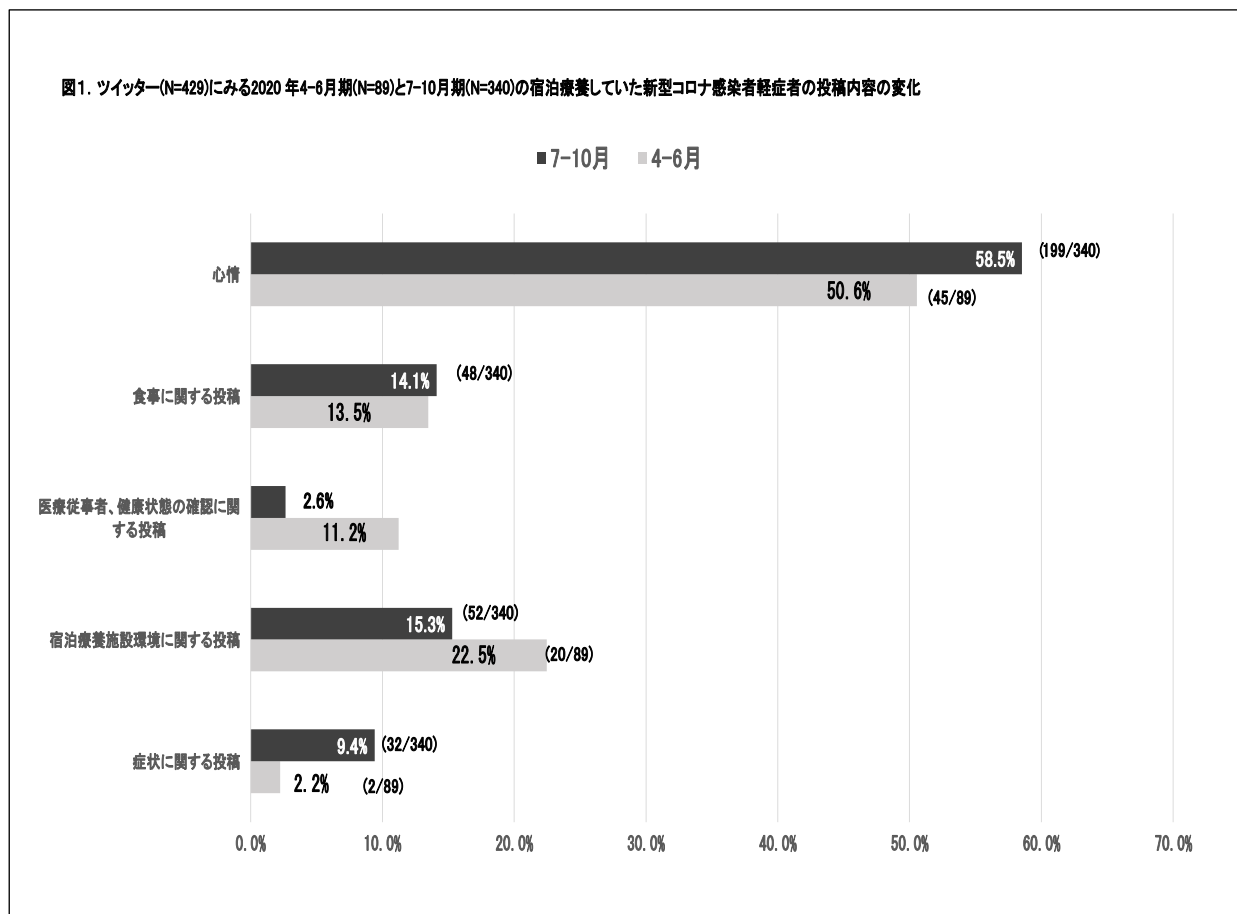
入所の時は陽性者向けの専用車両で入所するが、退所の際は自力での帰宅となる。荷物が多くタクシーを使う人も多いが、公共機関を使う退所者もいる。滞在中は1日2回、ホテル内に常駐する看護師からの電話やLINEでの音声、録音済みメッセージ機能を送信する形での健康観察が行われていたが、室内で亡くなっている事案が複数発生してからは画面を使った健康確認がふえてきている。LINEでのテレビ電話機能も用いられるようになったが、急変には対応できないこともあり、宿泊療養の大きな課題となっている。

投稿では個室での隔離であるため身体的苦痛に加え、孤独感や社会からの偏見、社会復帰への難しさ、経済的不安に関する心情についての投稿が最も多く、全体の半数を超えていた(図1)。筆者らは宿泊療養者には若年層が多いこともあり、別添資料(表1)にも記載した通り、ツイッターやインスタグラムの投稿から状況を明らかにしようと試みた。軽症者とはいえ、コロナ陽性者として「社会から隔離された」という状況でもあり自分の思いや悩み、苦しみ、さらには宿泊療養施設の生活環境や食事などについても多数投稿されていた。それらから見えてきたもっとも重要な点は、軽症者といっても、発熱や断続的な咳、頭痛や胸の痛み、めまい、など常識的な「軽症」とは程遠い症状に悩まされている療養者が多いことであった。呼吸困難がなければ「軽症」とされていたこともあり、現在では血中酸素濃度を測定するパルスオキシメーターが93%以下になると、すでに肺の疾患(肺炎)が進んでいることがわかっているが、筆者らが調査した時期にはパルスオキシメーターが渡されていない療養者も多かったと思われる。

図1は上部の黒の棒グラフが7-10月の投稿、下の灰色線が4-6月の投稿内容である。全体では心情に関する投稿が半数以上を占め、食事に関する投稿がそれに続く。さらに4-6月期には宿泊施設の環境や設備に関する投稿が多かったが徐々に情報が広がったからか、7-10月期には宿泊施設の設備に関する投稿は全体では少なくなり、変わって症状に関する投稿が大きく増えていった。これは2020年の後半になると病院の病床がひっ迫し、若年層や基礎疾患のない人は宿泊療養への振り分けが進み、相対的に症状が重い人も宿泊療養施設に増えていったことも考えられる。

具体的な投稿内容で特徴的な詳細については別添表1に示す。

<図1> ツイッターに見る 2020 年 4 月から 10 月末までの新型コロナ感染者の投稿内容とその変化 (N=429)



「お好み焼き、焼きそば、おにぎり。炭水化物ばかり！」「そろそろ野菜がたべたいです！！」「おかずが少なくお米が多い」。揚げ物や炭水化物等が多い弁当が続いていることは発熱や倦怠感の強い療養者には辛い様子である。宿泊療養が導入され約 10 か月あまりが経過し、お菓子やカップラーメン、ゼリー飲料、温かい食事の提供も増えているが、食事内容はあまり大きく変わっていない。オランダのリゾートホテルを用いた療養施設の事例では夕食は温かい食事が提供される他、毎食野菜や果物が必ずつくことを考えると、日本の療養施設の食事は今後はさらに療養者の体調面や栄養面を考慮した、バランスのとれた食事に配慮すべき点がある。

しかしデータを見る限り療養者のより強い苦悩は社会に根強い陽性者への偏見や予測のつかない後遺症とも思われる多様な症状についての投稿である。

「会社の同期から、先輩が私が飲み歩いてコロナにかかったと噂しているときいた。悲しかった。裏切られた気分だった。ただでさえ戻りにくいのに、もう職場はきっとその噂で持ち切りだ。職場に行きたくない」「会社の人と連絡するだけで精神的にしんどい。思いやりのないってというか、人としてこんな扱いするの？コロナ陽性で人権も仕事も無くなりそう」「陽性発覚した日は死にたかった。この世の終わりかと思った」。

など不安、辛い心情についてのツイートは多数に上った。

「毎日 14 時頃から悪寒が始まり 16 時頃に 39 度近くになる。朝・夕と LINE での体調報告に加え、看護師さんが電話をくれるがここはホテルなので薬も点滴もバイタルチェックも無い。ヤバイ時は自分でちゃんと伝えないとたれ死ぬのか。」

「呼吸が苦しくなったら電話するようにと言われているが、苦しくなってからで間に合うのか?」「39 度の熱があっても自力で呼吸出来て水が飲めれば軽症者だ。」「ちょっと歩いただけで疲れる…。体力落ちすぎ。」「味覚嗅覚はこれ以上の回復がのぞめないのかと思い始めてきた。不安しかない」。などである。

しかし感染者がさらに急増した 2020 年の 11 月末頃から 2021 年 2 月にかけてのいわゆる「第 3 波」で状況はさらに厳しくなっていた。宿泊療養施設への搬送や頻度の高い健康観察も首都圏を中心に陽性者の急増で困難となり、代わって「自宅療養」として自宅内で隔離を依頼する件数が増えた。筆者らも保健所の業務で陽性者らに電話をかけながら状況を聞き取る業務に関わっていたが、「自宅療養者」に関しては毎日の電話連絡も困難になりつつあるので、具合が悪くなったら救急車を自ら手配してほしい、と伝えていた。この時期、実質的にコロナ感染症の陽性者に対して保健所の積極的関与はもはや困難な状態になっていた。

## 全国一斉の保育園等と学校の休園・休校が働く親に与えた影響

新型コロナウイルス感染症は罹患者、陽性者以外にも様々な影響を与えた。

新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大と 2020 年 4 月に全国に発出された「緊急事態宣言」により、突然に政府が決定した「休園・休校措置」は子供のいる家庭生活に大きな変化をもたらしていた。本項では、休園・休校措置が働く親に与えた影響について 2020 年 9 月に質問票調査で検証した結果を報告する。

筆者らは特に就学期の子どもを持つ働く親への学校閉鎖の影響に注目し、2020 年 9 月に全国調査を行った。全国を 8 つの地区に分け人口比でサンプルを決め、0-15 歳までの子どもを持つ共働きの両親に質問票を用いたウェブ調査を行った。

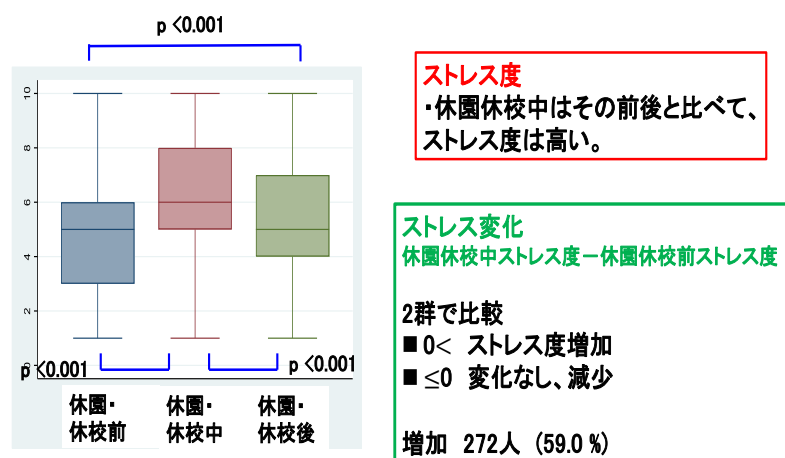
当初は条件の合致する 7,782 例に対して調査を依頼し、全国 8 地区（北海道、東北、関東、中部、近畿、四国、中国、九州）から人口比に合わせて調査に同意した「0-15 歳の子どもがいる共働き世帯」を抽出し、464 例を本調査回答として回収、最終的には 461 例の解析を行った。男性 230 例、女性 231 例、平均年齢は 41.3（標準偏差：6.5）歳であった。ストレスを 10 段階で自己評価してもらったところ休園・休校中のストレス度はその前後と比較し高くなっていた。しかし休校が解除された後も休校前ほどストレスは低くならなかった(図 2)。さらに女性の、すなわち母親の休園・休校中ストレス度は男性、つまり父親に比して有意に高く( $p < 0.001$ ) (図 3)、期間中にストレス度が増加した人も有意に多かった( $p = 0.040$ )。

また家事育児分担率では女性の家事育児分担率は男性に比べ有意に大きく ( $p < 0.001$ )、家事育児分担率が 40%以上と回答する層では休園・休校中のストレス度が有意に高くなっていた( $p = 0.003$ ) (図 4)。また休園・休校措置に関わらず、世帯の主観的経済状況が厳しい、と回答した世帯はストレス度も高くなっていた。総じて休園・休校措置で、15 歳までの子

どもを持つ共働きの働く親の心理的負担は増大していた。家事育児の分量が増え仕事との両立が困難となったと感じた母親は家事育児分担率が多いと回答した層では特に多かった。特に女性に関して言えば、家事育児の担い手としての役割不均衡がストレスに関連している可能性が示唆されていた。世帯の経済状況は、休園・休校措置に関わらず親のストレスに影響する因子であり、その困窮度によって生活の深刻さや親の心理的負担にも差があったことも示された。

<図 2> 「0-15 歳の子どものいる共働き世帯」へのコロナによる休園休校前、休園休校中、休園休校解除後の 3 地点のストレス

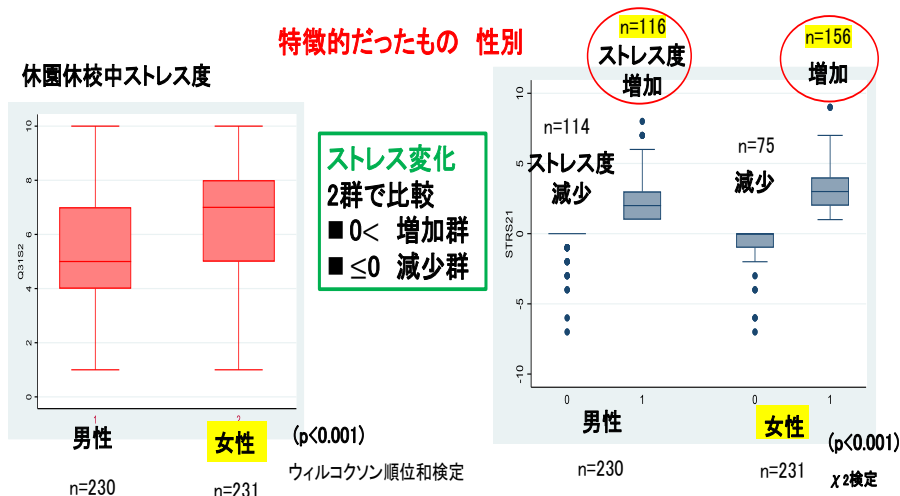
### 結果(ストレス度とその変化)



クラスカル=ウォリス検定、ウィルコクソン符号付き順位和検定

<図 3> 「0-15 歳の子どものいる共働き世帯」へのコロナによる休園休校中のストレス

### 性別とストレス度・その変化

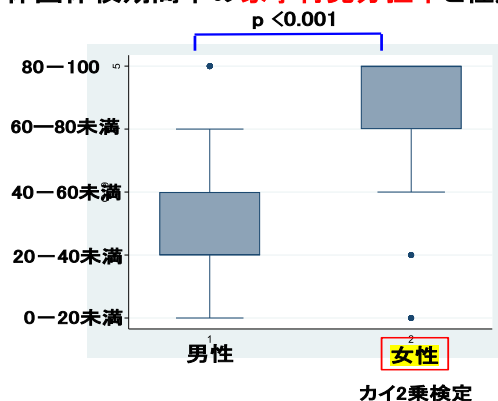


休園休校中の女性のストレス度は男性より高く、ストレス度増加は女性に多く見られた。

<図 4> 「0-15 歳の子どものいる共働き世帯」へのコロナによる休園休校措置がもたらした家事分担率の上昇

## 家事育児分担率の変化と性別の関係

休園休校期間中の家事育児分担率と性別



Q. 休園休校期間中の負担は何か？

家事育児分担率が上がるごとに「仕事と子どもの世話の両立」と答えた人増加

0-20% 55名中 9.1%  
 20-40% 96名中 19.8%  
 40-60% 105名中 32.4%  
 60-80% 65名中 36.9%  
 80-100% 140名中 18.6%

「ストレスと関連」報告あり  
財団法人女性労働協会

「子供の世話による疲労」  
 「自分の時間がない」が増えてくる

これらの結果から休園・休校措置を再び行うときには自宅における親の負担や子供の精神面にも十分な配慮を行う必要があることが明らかにされた。

### おわりに

本稿で示した通り新型コロナウイルス感染症は感染者にも、また社会生活においても多様な影響を与えていた。しかしこの感染症拡大により、これまで取り組まれてこなかった「医療避難所」としてのホテル等を活用した宿泊療養の導入やオンラインを用いた「遠隔診療」も少しずつ普及しはじめた。全国同時休園・休校措置が実施されたことにより、オンライン授業や食事のデリバリー、持ち帰りサービスの増加等も活発化した。欧米では一般化していた「在宅勤務(テレワーク)」といった多様な取り組みも生まれた。

ピンチをチャンスに、という言葉があるが新型コロナウイルス感染症がもたらした新たなサービスや影響についても今後実証調査も踏まえ、前向きに捉えなおし、この新型ウイルス感染症がもたらした変化を多様な側面から検証し、教訓を集約し、次の健康危機に対する社会の備えとしていく必要があると考えられる。

別添表 1: 軽症の宿泊療養者の思い

テーマ、領域	内容
症状等	<p>毎日 14 時頃から悪寒が始まり 16 時頃に 39 度近くになる。朝・夕と LINE での体調報告に加え、看護師さんが電話をくれるがここはホテルなので薬も点滴もバイタルチェックも無い。ヤバイ時は自分でちゃんと伝えないとのたれ死ぬのか。</p> <p>夜が辛い。喉が乾く、意識が朦朧としているので寝ても起きれるのか不安になる。朝・昼・晩と食事は用意されるが午後ティーか野菜ジュースが飲みたいが無い。公費で食事と寝床を頂いている身分、わがままは言えないか。</p> <p>宿泊施設は比較的若めの無症状、軽症者が入るので、ガッツリ弁当になるのは分かる。お弁当を受け取る時にすれ違う人達も、みんな 20 代～30 代くらいだ。しかしコロナの軽症者の範囲が広すぎる。39 度の熱があっても自力で呼吸出来て水が飲めれば軽症者だ。</p> <p>呼吸が苦しくなったら電話するようにと言われているが、苦しくなってからで間に合うのか？</p> <p>療養中施設でのお弁当うまそうで素敵なのが出てくるけど。味覚ないからあかん笑。せつない。</p> <p>カレーの匂い、味は少しした。でも、その他のおかずの味はほぼ味がしなかった。</p> <p>味覚嗅覚はこれ以上の回復がのぞめないのかと思いはじめてきた。</p> <p>ちょっと歩いただけで疲れた…。体力落ちすぎ。</p>
生活環境	<p>あちこちから咳き込む音がしょっちゅう聞こえる。</p> <p>上の階の人の足音、とっとうるさいです。それに音楽の製作している人もいるようだ。</p> <p>毎日着々と人が増えてる。今朝は食事とりに行く時、エレベーター内が感染者で密(笑)でした。出て行ってる人はいるんだろうか？</p> <p>ホテルの Wi-Fi がよく途切れるので冷や汗をかいている。仕事される方はホテルに確認して有線利用出来るようにした方がいいかも…</p> <p>隔離してもらったおかげで、ストレスが軽減されました。でもこれで家族が守られたかはわからない。今後の 2 週間で発症しないとも限らない。</p> <p>入所者が緊急搬送された。こんな事があると不安になってしまう。</p> <p>体操放送の時間が書いてあった。座ったり寝たりだけだと体が痛くなるので、本当ありがたい。</p> <p>館内放送で『食事の時間以外は自身の居室から出ないように』と流れた。</p> <p>私は市内の繁華街近くにあるホテルで療養していました。夜景が綺麗でした。コロナがなければ海外からの旅行者が多く宿泊していただろうなと思いました。感染対策でパーティションがあり、ロビーを見ることはなかったけど、サイトを見てみると、とてもおしゃれなホテルでした。</p>
行政や医療従事者への思い、健康状態の確認に関すること	<p>①宿泊施設の看護師さん②県の療養サポートの看護師さん③宿泊施設の事務局さん④県の療養サポート係の方⑤保健所の担当者⑥主治医と言われる知らない先生。この 6 人に支援してもらっているが、例えば宿泊施設の看護師さんだけでも複数人いるので、同じ事を何度も聞かれます。</p> <p>軽症者が問診表にクリック形式で記入できるアプリ開発者求む。</p> <p>ホテル療養では 1 日 2 回体温や健康状況をアプリに入力します(注: アプリ整備済み施設)</p> <p>薬が欲しいと伝えただけなのに、県の看護師に聞いてくれとか、宿泊施設に入ってるなら施設の看護師が担当だとか、オンライン診療について保健所に聞いてくれとか、緊急じゃないと受診は出来ません、と施設事務局から言われたり、自分も当初の用件が分からなくなるレベルの混乱ぶり。</p> <p>微熱が続いてるから看護師さんが心配してちょこちょこ電話をくれる。気にしてくださるのが有り難い…。遅くまでありがとうございます。</p> <p>軽症者ホテル内で誕生日を迎えた。誰とも会わず、最悪な誕生日だと思っていた所、看護師さんから『ケーキはないけど、誕生日おめでとうございます』って電話を下さいました。看護師さんも大変なのに、体調だけでなく心のケアまでしてくれました。本当に嬉しかった。ありがとうございます。</p> <p>実は昨日から食欲が少し落ちてきたので看護師さんに相談して今日の夕飯は特別にお粥にしてもらいました。そういう優しさがとても嬉しい。</p> <p>保健所の方々、いろんなところから電話殺到して疲れてるはずなのに、また土日なのに、ありがとうございます</p>



食事	なんと！お弁当と一緒にオレンジジュースが置かれていた！フレッシュな酸味が体中に染み渡る。入所した時と比べ、色々工夫して改善してくれた点は本当に感謝している。
	ここはとにかく眺めが良くて「療養」するには最高の環境だ。しかし…39度の熱があるのに、夕飯は特盛り唐揚げ。飲み物は水だけ。先が思いやられる。
	この素晴らしい所は弁当が美味しいところ。この日はグリコ、明治さんからお菓子の差入れがあった。そして、必ず味噌汁が付いていること。かなり恵まれてると思う。
	今日のパワーランチお好み焼き、焼きそば、おにぎり。炭水化物ばかりやん！大阪っぽい。ご飯が唯一の楽しみ。お魚も温かくて嬉しい。温かいごはん幸せ。
	ホテル療養ではビタミンほぼ取れない。プラスでプロテイン飲んでビタミン補給してます。そろそろ野菜が食べたいです。
	差し入れて和菓子、ラスクも頂いた。久々のお菓子美味しい。
	ポカリスエットの応援差し入れをいただきました。本当にこういう時に人間の温かみを感じします。本当にありがとうございます。
心配・不安	窓から見える空はきれい。今日は晴天だ。外を歩く人が羨ましい。私も外に出たい。ふと涙があふれた。
	入所のために家を出た瞬間から近隣住民に出くわす。恐怖。立ち止まって先に行かせて回避。前から救急車来てしまった。私のお迎えだって気が付きませんように。心臓バクバク。
	長い1日ははじまった。勤務先の同期から、私が飲み歩いてコロナにかかったと噂しているときいた。悲しかった。裏切られた気分だった。ただでさえ戻りにくいのに、もう職場はきっとその噂でもちきりだろう。余計に行きにくくなってしまった。
	これだけの人が感染してるんだから別に誰に話したって良さそうなもんだけど、どんな反応されて、どこにどんな迷惑かけるか分かんないからひとまず隠すしかない。回復後も嘘ついて過ごすのかと思うのが重い。
	菓子折持って仕事復帰したけど、一部の人の対応が冷たいと感じる。同僚達がよそよそしい。だって明らかに私と話すの避けてる空気を出してる。
	今日の感染者数は、人口の5%だからとか、軽症がほとんどだから、というのは余裕すぎます。経験者からしたらそんなこととても言えない。長い後遺症もきついけど、1番辛い後遺症は周囲からの差別的な圧力です。
	退院者もたくさん出てきているのだから、後遺症に苦しむ人のケアも念頭に置いてほしい。
	陽性発覚した日は死にたかった。療養生活で色々考えたわ。
	コロナ陽性で人権も仕事も無くなりそう。
	体調もそうだけど、コロナはメンタルとの戦いの気がする。クラスター発生もだけど軽症者たちのその後が気になる。
嬉しかったこと	皮膚の痒み、咳があり、酸素濃度も93~95%、シャワーを浴びると少しフラフラする。そんな中（有名洋菓子店名）から入所者にお菓子の差入れがあった。イライラしている中、一気にご機嫌がなおりました。
	家から連れてきたお花、まだ元気。持ってきてほんとに良かった。お花の差し入れ嬉しいと思う。
	「辛い時には辛いと言ってください」と、常に我慢してないか気にかけてくれる上司やメンバーの言葉にどれだけ救われていることか…わからないから理解したい、という姿勢で向き合ってくれる人たちには本当に感謝。
	入り口で対応してくれた看護師さんがとても感じ良くて、すごくホッとした。
	宿泊療養の最後の夜。友達からの差し入れと一緒に入った手紙に私なら大丈夫乗り越えられると書いてあってポロ泣きした。辛かったけどなかなかない経験をしたし、これから陽性になってしまった人にも同じように言ってあげたい。